

題材名 『林間学校を成功させるために行動目標を考えよう』 (第5学年) 学級活動 内容(2)

本時のねらい

林間学校のクラススローガン・個人目標の達成を目指した具体的な行動目標を考える活動を通して、学校生活を見直し、よりよい行動ができるようにする。

題材構想の意図

本題材では、林間学校に向けて、クラスがどのような現状か話し合います。そこで、事前の活動では個々の不安要素の原因を明らかにし、解決すべきクラスの課題を見いだします。本時では、明確になった課題についての解決策を考え、自分自身の行動目標を立てます。事後の活動では、自分で決めた行動目標を、粘り強く実践できるように、定期的な振り返りを行います。

過程

主な学習活動

1. 学級の現状を把握し、問題を発見・確認する

- 以前の学級活動で決めた林間学校のクラススローガンと個人目標を計画委員が掲示する。
- 楽しい気持ち(赤)と不安な気持ち(青)を円グラフに表す。
- 計画委員が赤と青の割合の理由についてアンケートを行い、教師と話し合う。
- 計画委員を中心に「会議計画書」を作成する。



アンケートを活用させる

自分の気持ちを円グラフにして視覚化させることで、自己を見つめ直しやすくする。全員の円グラフを掲示し、自分と比較させながら、クラス全体の様子が分かるようにする。クラスの現状を把握するため、題材に合ったアンケートを行う。アンケート集計は、計画委員を中心に行うことで、問題意識を高められるようにする。

会議計画書を作成させる

見通しをもった話し合いができるように、計画委員を中心に「会議計画書」を作成させる。

事前の活動

2. 学校生活を見直し、行動目標を考える

【めあて】

クラススローガンと個人目標を達成するために、自分ができることをしおりに書こう。

- クラスの現状についてのアンケート結果を全体で把握する。
- 林間学校に対して不安要素がどこにあるのか、原因や課題をさぐる。
- 解決するための具体的な手立てを林間学校のグループで話し合い、意見を発表し合ってクラス全体で共有する。
- クラスをよりよくするために、今日までの自分を振り返りながら、具体的な個人の行動目標を考え、しおりに書き込む。



班別での話し合い



全体共有

児童主体の話し合い活動にさせる

計画委員が作成した「会議計画書」をもとに、話し合いを進行させる。司会には安心感を与えるため以下を準備する。
 ・大まかな流れを記した「会議進行表」
 ・困ったときに使える言語集「ヘルプカード」
 ・教師に助言をもらう「ヘルプベル」

全員参加の深い学びを促す

林間学校の班でグループを作り、当日を意識させながら話し合いができるようにする。少人数のグループにすることで、自分事として捉えさせるようにする。

しおりを活用した意思決定をさせる

しおりに記入欄を作り、児童自身でしおりを作成させることで、意欲の高まりと継続を目指す。クラススローガン・個人目標を基に、個人目標を決めることができるように、同じページに書ける書式にする。

本時の活動

3. 決めたことを実践し、振り返る

- 行動目標が達成できたか、しおりの振り返り表に自己評価をする。
- 当日の様子を感想文や新聞などにまとめる。
- 来年の5年生に伝えたい情報をポスターなどにまとめる。

☆しおりのシート☆ 自分事用のしおりにしよう

1. 林間クラススローガン

2. どんな林間学校にしたい?【個人目標】

3. そのために、どんなことをがんばりたい?【目標を達成するためにがんばること】

日	月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	11/1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	

【@とてもよくできた ○できた △もう少しがんばれる ×もっとがんばれたい...】

継続的な実践を促す

定期的な振り返りを行うことで、責任感をもって生活し、当日やその後の学校生活への継続を図る。

主体的・対話的な事後活動になるようにする

林間学校当日に自信をもって参加できるように、作ったしおりを確認させ、目標を意識して過ごせるようにする。来年の5年生に伝えるという相手意識をもたせ、グループで協力してまとめられるようにする。

事後の活動

学級活動学習指導案

平成30年10月 第5学年 指導者 森下 千秋

I 題材名 「林間学校を成功させるために行動目標を考えよう」

II 学習指導要領上の位置付け

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ よりよい人間関係の形成

学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり信頼し合ったりして生活すること。

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

III 目 標

ア (知識及び技能)

日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けられるようにする。

イ (思考力、判断力、表現力等)

自己の生活における課題に気づき、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成したりする態度を養えるようにする。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開

- ねらい 林間学校のクラススローガン・個人目標の達成を目指した具体的な行動目標を考える活動を通して、学校生活を見直し、よりよい行動ができるようにする。

2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

1 話合いのめあてをもつ。

つかむ (10分)

- クラススローガンを確認し、どんな林間学校にしたいかについて考えてきた個人目標を林間学校のグループで交流し、全体で共有する。

めあて 林間学校を成功させるために、5年2組をよりよくするための具体的な行動目標を考えよう

2 学校生活を見直し、行動目標を考える。

さぐる (10分)

- クラスの現状を聞いたアンケート結果から、気付いたことを自由に発言させたり、計画委員が分析したことを発表したりして、全体で把握する。
- 現在のクラスだと「林間成功度」はどのくらいになるのか全員の平均を提示し、100%にならない原因を、それぞれの「心情バロメーター」の不安な気持ち(青)と関連付けて意見を出す。
- 出てきた課題の根本的な原因はどこにあるのか、全体で話し合って確認する。

見つける (15分)

- クラスの現状と関係している課題を、理由を含めて出し合う。
- 当日を想起させながら話し合えるように、林間学校のグループで、解決するための具体的な手立てを考えさせる。
- ホワイトボードを使って、各グループからの意見を発表し合い、クラス全体で共有する。

3 行動目標を決める。【意思決定】

決める (10分)

- 今日までの自分を振り返りながら、クラススローガン・個人目標に対する具体的な個人の行動目標を考え、しおりノートに書き込む。

今までの自分を振り返り、クラスがよりよくなるための具体的な行動目標を決めようとしている。(主体的に取り組む態度)【しおりノート・観察】

- 学活ノートを活用し、話合いについての反省や改善を交流させる。

☆クラスをもっとよくして、林間学校を成功させようという思いが強くなりました。

過程	基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善等のポイント	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
事前の活動	<p>1. 問題の発見・確認 ◇題材について知る。 どんな林間学校にしたいか考える。</p> <p>◇問題を確認する。 林間学校へ向けて、課題を明確にする。</p> <p>◆共通の課題を設定する。 林間学校を成功させるための話合いの議題を考える。</p> <p>◆活動計画を作成する。 会議計画書、板書計画を作成する。</p> <p>◇問題意識を高める。 個人目標をしおりに書く。</p>	<p>○成功した林間学校のイメージをもたせるために、6年生からのビデオメッセージを見てクラス全体で話し合わせる。</p> <p>○校外・宿泊学習の意義や細かいルールなどを事前学習の中で学び、クラススローガンと個人目標を作成させる。</p> <p>○林間学校を成功させる意欲を高めるため、楽しい気持ち(赤)と不安な気持ち(青)を色分けして表した「心情バロメーター」を作り、クラスみんなで見合えるように掲示する。</p> <p>○特に青にした理由に注目させ、クラス全体で話し合う内容を計画委員と考える。</p> <p>○「会議計画書」に会議の大まかな流れを決めておき、時間どおりに会議が進むようにする。</p> <p>○クラススローガン・個人目標を達成することで、林間学校の成功につながることを伝え、共有させておく。</p>	<p>◎林間学校について、クラスや自分の実態を考え、「心情バロメーター」を書いたり、アンケートに答えたりしている。(思考・判断・表現) 【アンケート】</p>
本時の活動	<p>2. 解決方法等の話合い ◇問題を把握する。 クラスの現状を知る。</p> <p>◇原因を追求する。 問題の原因をさぐる。</p> <p>◇解決方法を見付ける。 解決するための手立てを考える。</p> <p>3. 解決方法の決定 ◇個人目標の意思決定をする。 一人一人の行動目標を考える。</p>	<p>○児童それぞれの「心情バロメーター」を用意しておき、楽しい気持ち(赤)が100%ではなかったこと、不安な気持ち(青)の部分があることを確認し、クラスの実態が見直せるようにする。</p> <p>○クラススローガン・個人目標が達成できるかどうかを表す「林間成功度」が100%にならない場合、その原因を追求させる。</p> <p>○原因を解決するための具体的な手立てを、林間学校のグループで話し合い、意見を発表し合ってクラス全体で共有させる。</p> <p>○今日までの自分を振り返りながら、クラススローガン・個人目標に対する具体的な行動目標を考え、しおりノートに書き込ませる。</p>	<p>◎今までの自分を振り返り、クラスがよりよくなるための具体的な行動目標を決めようとしている。(主体的に取り組む態度) 【しおりノート・観察】</p>
事後の活動	<p>4. 決めたことの実践 ◇粘り強く実践する。 行動目標が達成できたか、毎日振り返る。</p> <p>5. 振り返り ◇定期的に振り返る。 来年の5年生に伝えたいことをまとめる。</p>	<p>○クラススローガン・個人目標を意識し、行動目標を遂行できる表をしおりに載せ、毎日振り返りを行うよう声を掛ける。</p> <p>○林間学校成功の意識が継続するように、個別にアドバイスや励ましのコメントをする。</p> <p>○実践意欲が日常の生活でも継続するように、感想文や新聞などにまとめさせる。</p> <p>○楽しかったこと、アドバイスなど来年の5年生に伝えたい情報を林間学校の班でポスターなどにまとめさせておく。</p>	<p>◎自分の行動を振り返り、改善する部分を理解している。(知識・技能) 【観察・しおりノート】</p>